

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) |使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザ・パークハウス二条城	階数	地上7F
建設地	京都府京都市上京区下立売通千本	構造	RC造
用途地域	商業地域 準防火地域	平均居住人員	168 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2011年8月 竣工	評価の実施日	2012年11月13日
敷地面積	1,084 m ²	作成者	(有)パオプラン岸高行
建築面積	936 m ²	確認日	2012年11月13日
延床面積	4,888 m ²	確認者	(有)パオプラン岸高行

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	その他 特になし	
Q1 室内環境 Low-eペアガラスを採用し、熱負荷低減に配慮した。 2.4時間換気システムの採用	Q2 サービス性能 全住戸南向きとし日照を確保した。	Q3 室外環境 (敷地内) 景観に配慮したデザインや外壁色を採用した。
LR1 エネルギー 高効率な機器の採用によりエネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓の採用により、水資源の節水を図った。	LR3 敷地外環境 遠景・近景デザイン保全区域及び沿道美観地区に指定されており、京都市景観課と協議し町並に調和したデザイン、勾配屋根、色彩で計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される